

報道関係各位

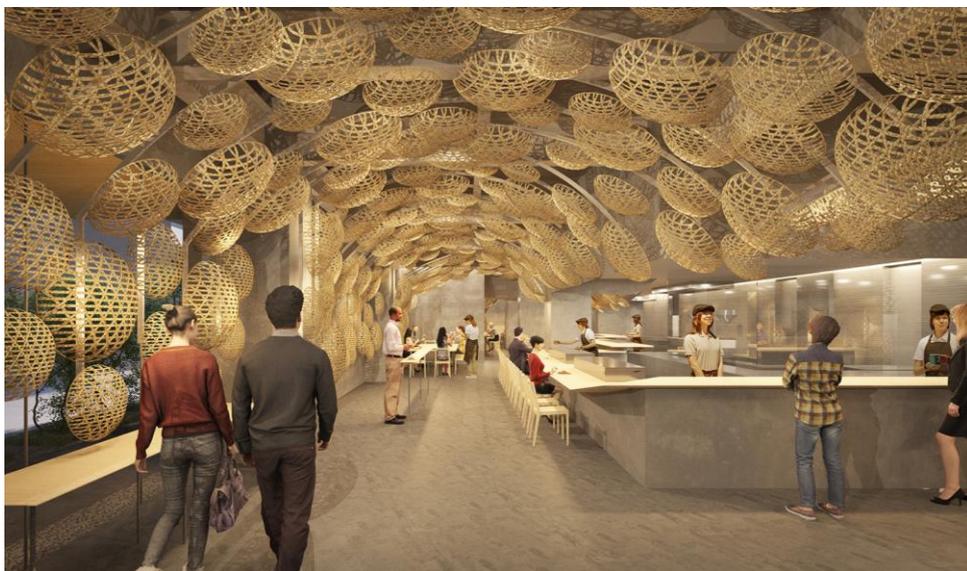
2019年1月30日
株式会社ストライプインターナショナル



koe からエシカル&ウェルネスをテーマにした体験型店舗 ドーナツファクトリー「koe donuts」1号店を3月21日(木・祝)京都に OPEN ～建築家・隈研吾氏、イラストレーター・長場雄氏などをクリエイティブに起用～

株式会社ストライプインターナショナル（本社：岡山県岡山市、代表取締役社長：石川康晴）の展開するグローバル戦略ブランド「koe（コエ）」は、3月21日(木・祝)新業態のドーナツファクトリー「koe donuts（コエ ドーナツ）」1号店を京都にオープンいたします。

新業態として展開する koe donuts は、“life happens, donut helps” をコンセプトにした体験型のドーナツファクトリーです。ドーナツは世代や国を超えて親しみのある定番おやつですが、高カロリーなイメージがあります。koe では、近年の健康志向の高まりから「ウェルネス」をテーマに低カロリーでオーガニック、そしてブランドコンセプトである「エシカル」の観点から、地球環境にも配慮し、素材や製造にこだわった新しいドーナツを販売いたします。



最大の特徴は、工場併設型店舗であることです。石臼で粉を挽き、オリジナルのベルトコンベヤー式フライヤーでドーナツを揚げ、トッピングまでの全製造工程を見学いただけます。イトインは出来立てのドーナツをナイフとフォークで味わうスタイル。テイクアウトメニューは、バリエーション豊富で視覚的にも楽しめるドーナツをご用意し、自宅用だけではなくギフトにも最適です。原料は京都産をはじめとする国産素材を使用し、「オーガニック」「天然由来」「地産地消」をキーワードに、日本らしい上質なドーナツに再編集します。

出店場所である京都は、日本国内の観光客をはじめ海外のインバウンド需要も多い代表的な都市です。koe が提案する新しいドーナツを世界へ広げていきたいという想いから1号店を京都に出店します。

店舗デザインは、世界が注目し日本を代表する建築家・隈研吾氏が手掛けます。内装は“奥へと導く竹かごの空間”をテーマに、京都嵐山の竹を使用した伝統的な六ツ目編みのかごを 572 個用いて、エシカルで柔らかかに仕上げました。かごの網目から漏れるライトは、店内に陰影をもたせ安らぎの空間を演出してくれます。ショッパーやナプキンなどにプリントを施したイラストは人気イラストレーター・長場雄氏がデザイン。メインキャラクターは、ドーナツ好きな世界中の人々の気持ちを表現し、親近感あるデザインの“ドーナツ博士”です。パッケージ&グラフィックデザインには、koe グローバル旗艦店「hotel koe tokyo」をはじめとする koe 全体のブランディングを手掛ける artless Inc. の川上シュン氏。多様なクリエイターを起用し、新しいカルチャーを体現していきます。

koe donuts は koe が提案するサードプレイスとして、京都を訪れる様々な人々にとって安らぎある空間や安心できる食を提供し、誰からも愛されるドーナツを通して、新しい食の楽しみ方を世界に向け発信してまいります。

■ドーナツファクトリー「koe donuts」概要

オープン : 2019年3月21日(木・祝)
所在地 : 京都府京都市中京区新京極四条上ル中之町 557 番地
京都松竹阪井座ビル 1F
延べ面積 : 439.08 m² (132.82 坪)
席数 : 65 席+スタンディング
HP : <https://donuts.koe.com>
Instagram : @koe_donuts
(https://www.instagram.com/koe_donuts/)



商品イメージ



<株式会社ストライプインターナショナル 代表取締役社長 石川康晴コメント>

国民的スイーツであるドーナツ市場は近年下降傾向にあります。koe donuts では、オーガニック、無添加、希少糖、米油などを使った健康的なドーナツを開発する事で市場を活性化させたいと考えています。今後、“日本発”健康的で環境に配慮したドーナツを世界で展開していきたいと思えます。

<隈研吾氏コメント>

エシカルへの取り組み、オーガニックへのこだわりを見せるドーナツ店で、京都嵐山の竹を用いたエシカルで柔らかなインテリアに挑戦した。伝統的な六ツ目編みの竹かご 572 個で覆われたドーム状の暖かな空間は、店であると同時にドーナツのファクトリーであり、厨房でもある。京都の繊細でしかもたくましい台所文化が、竹かごを通じてよみがえる。

<長場雄氏コメント>

最初にキャラクターの依頼をいただいたので、アイコンックでインパクトがありつつ、親しみのあるもの、ずっと身近にあっても苦にならないものを目指しました。四条という京都の中心地で国内外問わず多くの方が目にするキャラクターになると思えます。いらした方に愛されるキャラクターになれば嬉しいです。

<川上シュン氏コメント>

京都という伝統に、ポップさという相反するトーンをあえて組み合わせることで、独自のブランドイメージを作るということを意識したブランディングを行なっています。どの都市も急速にグローバル化するマーケットと、この koe donuts がいい化学反応を起こし、日本だけでなく世界に広がっていくことを期待しています。

株式会社ストライプインターナショナル 広報部
〒104-0061 東京都中央区銀座4-12-15 歌舞伎座タワー18階
TEL: 03-3524-1502 FAX: 03-3524-8341 MAIL: public-info@stripe-intl.com



koé

E hyphen world gallery[®]

Green Parks



SEVENDAYS=SUNDAY

YEGGA VEGGA

AMERICAN HOLIC

Maison de FLEUR

SCENT OF
Varo

LEBECCA boutique

GARAGE OF GOOD CLOTHING
JAPAN

MECHAKARI

BLOCK
natural ice cream

913
NEUF UN TROIS

参考資料

隈研吾

1954年生。東京大学建築学科大学院修了。1990年隈研吾建築都市設計事務所設立。現在、東京大学教授。

1964年東京オリンピック時に見た丹下健三の代々木屋内競技場に衝撃を受け、幼少期より建築家を目指す。大学では、原広司、内田祥哉に師事し、大学院時代に、アフリカのサハラ砂漠を横断し、集落の調査を行い、集落の美と力にめざめる。コロンビア大学客員研究員を経て、1990年、隈研吾建築都市設計事務所を設立。これまで20か国を超す国々で建築を設計し、(日本建築学会賞、フィンランドより国際木の建築賞、イタリアより国際石の建築賞、他)、国内外で様々な賞を受けている。その土地の環境、文化に溶け込む建築を目指し、ヒューマンスケールのやさしく、やわらかなデザインを提案している。また、コンクリートや鉄に代わる新しい素材の探求を通じて、工業化社会の後の建築のあり方を追求している。

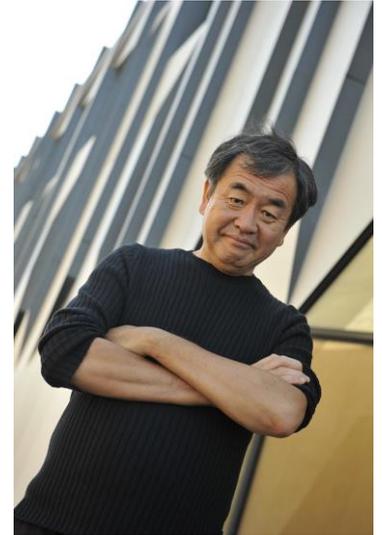


Photo © J.C. Carbonne

長場雄

イラストレーター、アーティスト。人物の特徴を捉えたシンプルな線画が持ち味。プライベートワークとして毎日1点作品を制作する他、広告、書籍、アパレルブランドとのコラボレーションなど幅広く活動中。

<https://www.instagram.com/kaerusensei/>



Photo © Kazuhiro Shiraiishi

川上シュン

ブランディングディレクター／アートディレクター

ブランディング・エージェンシー artless Inc. 代表。すべてのデザイン領域におけるアートディレクションを行い、アート／デザイン／ビジネスと3つの視点を軸にした独自のブランディングを行う。東京と京都を拠点としグローバルな多岐に渡る活動をしている。

www.artless.co.jp



Photo © Kyohei Matsuda